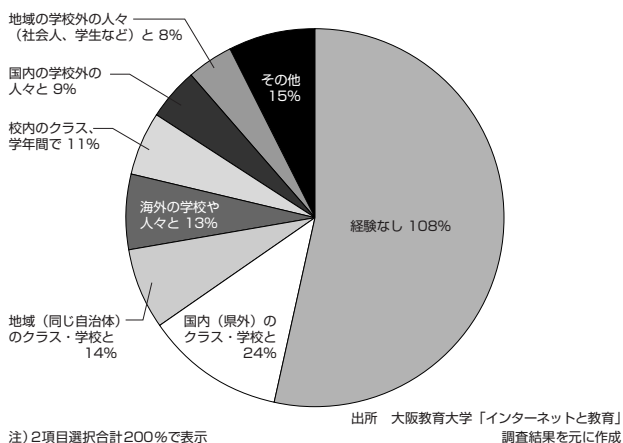


# 第1章 教育

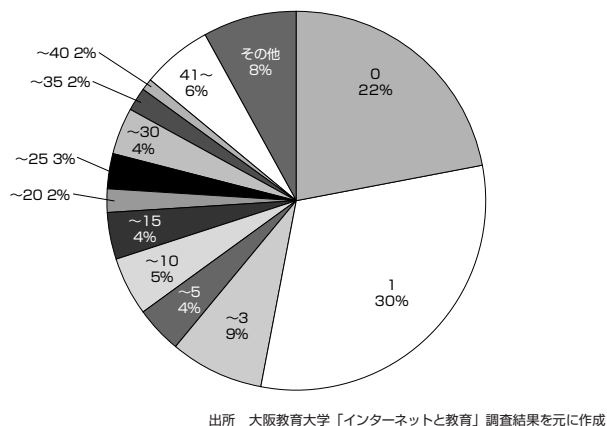
## 小中高③

## メール不足が交流・共同学習に足かせ

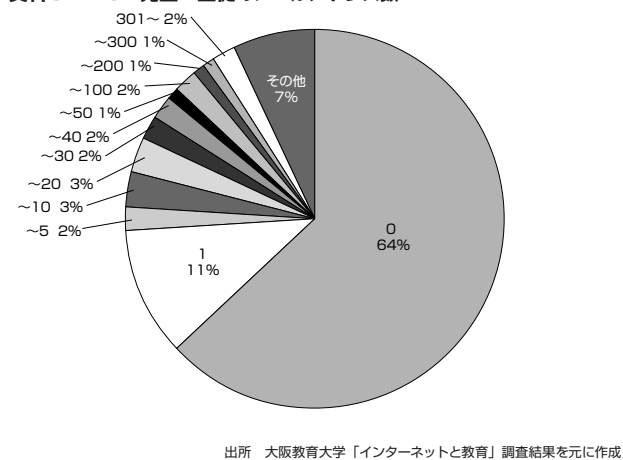
資料3-1-8 交流・共同学習の経験



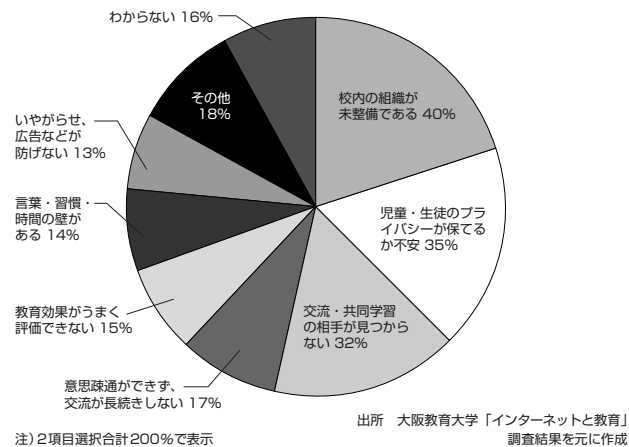
資料3-1-9 教職員のメールアドレス数



資料3-1-10 児童・生徒のメールアドレス数



資料3-1-11 交流・共同学習の問題点



## 解説

### コミュニケーションと交流・共同学習

インターネットの特徴であるコミュニケーションメディアとしての機能が、学校教育の場でどう活かされているかを調べた。まず、交流・共同学習の経験を2項目選択で尋ねたが、資料3-1-8で示されるように「経験なし」が54%である。内訳は、高等学校69%、中学校55%、小学校37%であり、学年が下るほうが交流・共同学習が盛んである。交流・共同学習の対象としては、国内（県外）の学校が24%で、これに地域の学校・クラスが14%と続く。ただし高等学校では、海外の学校が最も多く16%となっている。

コミュニケーションの基本的ツールである電子メールのアカウントの発行状況を教職員、児童・生徒についてそれぞれ調べた結果が資料3-1-9および資料3-1-10である。教職員の場合、学校あ

たり0~3アカウントを合わせると61%で昨年より10ポイント減った。このように、教職員へのメールアドレスの発行も着実に増加している一方で、児童・生徒に関しては、アカウントが発行されていない学校が64%と、昨年より大きく変化していない。

次に、交流・共同学習の際の障害を2項目選択で挙げてもらったものが資料3-1-11である。先に見たように、「メールアドレスの不足」が40%でトップとなり、続いて「児童・生徒のプライバシーが保てる」が35%と、昨年より10ポイント上昇している。これに、「国内交流・共同学習の相手が見つからない」が32%で続いている。

(越桐國雄 大阪教育大学教育学部教授)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)